



悠^{はるか}久なる時を超え

昭和女子大学光葉博物館 秋の特別展
開館 30 周年記念展 第 3 弾

覧古考新 Bridging old and new

～珠玉の美術コレクション照覧～

2024年10月23日(水) ▶ 11月22日(金)

昭和女子大学光葉博物館

〒154-8533 東京都世田谷区太子堂 1-7-57 (昭和女子大学構内 大学 7 号館 1 階)
TEL 03-3411-5099 <https://museum.swu.ac.jp>
【開館時間】10:00～17:00 ※11月9日(土)・10日(日)10:00～16:00
【休館日】日曜・祝日 ※ただし11月10日(日)は開館 【入館料】無料

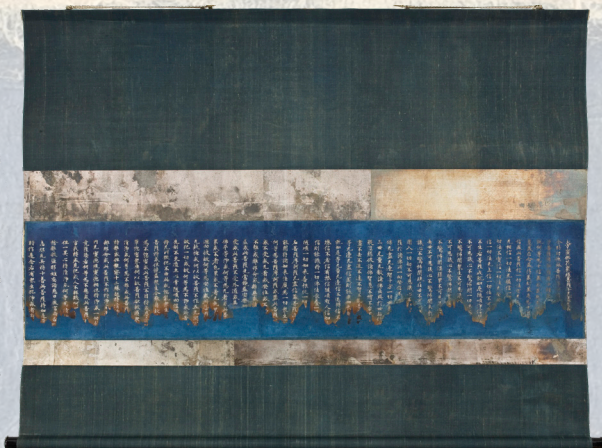


今、わたしたちに語りかける

覧古考新 Bridging old and new

～珠玉の美術コレクション照覧～

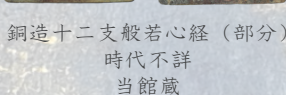
2024年10月23日(水) ▶ 11月22日(金)



紺紙銀泥華嚴經断簡(二月堂焼経) 杉本博司 装丁
奈良時代 小田原文化財団蔵



鉄地銀象嵌盒子
朝鮮・高麗時代 当館蔵



銅造十二支般若心經(部分)
時代不詳
当館蔵



黒漆地芭蕉に
桐紋金蒔絵香炉
桃山時代 当館蔵



黒漆地筒井筒金蒔絵文台
江戸時代 当館蔵

昭和女子大学光葉博物館は、2024年4月に開館30周年を迎え、春から開館30周年記念展を順次開催してきました。この特別展はその第3弾にあたるものです。

「覧古考新」とは、「古きを覧、新しきを考える」ことです。当館には、その魅力がまだ広く認知されていない資料が多くあります。開館30年を迎えた今、収蔵資料を改めて見直し、従来あまり注目されてこなかった美術コレクションを取り上げます。

その中には、奈良時代の華嚴經断簡(二月堂焼経)や藤原道長(966-1028)が書写した法華經の断簡(金峯山埋経)をはじめ、仏教彫刻、漆芸品、金工品などの優品が含まれています。本展は、これらを再検討することで、当館の資料群における美術コレクションの美術的、あるいは歴史的な資料価値も見直し、位置づけることを目的としています。

また、本展の開催に合わせて、展示資料を中心とした収蔵資料のデジタルカーカンプを作成し、公開する予定です。こちら併せてご期待ください。

◆関連イベント *事前申込不要

I 学生によるギャラリートーク(於 当館展示室)

日時: ① 10月23日(水) ② 11月9日(土) ③ 11月13日(水)
①・③...15:00~15:30 ②...14:30~15:00

II 特別講演会「藤原道長と「埋経」」

(於 大学8号館6階オーロラホール)

日時: 11月13日(水) 16:00~17:30

講師: 宇都宮 啓吾 氏

(大阪大谷大学文学部教授。1966年生まれ。専門は日本語学、特に古経典を対象とする訓点資料の研究、古経典そのものの書誌学的な研究。本職の他、京都国立博物館客員研究員、文化庁調査員なども務める。)

昭和女子大学光葉博物館



〒154-8533 東京都世田谷区太子堂1-7-57(大学7号館1階)

Tel 03-3411-5099 <https://museum.swu.ac.jp/>

【開館時間】10:00~17:00 ※11月9日(土)・10日(日)10:00~16:00

【休館日】日曜・祝日 ※ただし11月10日(日)は開館

【交通】東急田園都市線(半蔵門線直通)「三軒茶屋」駅下車 徒歩7分

JR 渋谷駅西口バスターミナルより三軒茶屋経由のバス「昭和女子大」下車

*1・2: 木造獅子狛犬像 鎌倉時代 当館蔵 / *背景: 紺紙金泥法華經断簡(金峯山埋経) 藤原道長 筆 長徳4年(998)

